

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 616 号

2012年 10月 1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

古河スカイと住軽金 合併してメジャー目指す

アルミニウム圧延で、最大手の古河スカイと第2位の住友軽金属工業は8月29日、合併することで合意したと発表した。

公正取引委員会の承認が得られれば2013年10月1日に古河スカイを存続会社として合併する。古河スカイは新株を発行し、住友軽金属工業株1株に対し古河スカイ株0.346株割り当てる方式をとる。

古河スカイと住友軽金属工業の国内における板材の生産シェアは、2010年実績でそれぞれ31.3%と26.7%で、単純合計は57%となり、現在3位の神戸製鋼所のシェア21.2%を大きく引き離す。

押出品も含めたシェアは古河スカイが21%、住友軽金属工業が18%で、合わせる40%程度に高まる。新日本製鉄と住友金属工業の経営統合が昨年公正取引委員会に承認されたことで、大型の経営統合のしやすい素地ができたと考えられる。

古河スカイは厚板に強く、アルミニウム板で最も厚い板として使用される液化天然ガス（LNG）輸送船用を日本で唯一手掛ける。

住友軽金属工業は自動車や電器部品などに使われる薄板の多品種生産を得意としており、加工が複雑なパソコン外装部品で、台湾電子機器の受託製造サービス（FMS）大手から大口受注を獲得している。

両社は合併により品揃えが拡充すると共に技術力も強化するかまえ。そしてアジアや北米など海外市場の開拓を加速させたいとしている。また、合併を機に、アジアなどで大規模投資をして供給体制を整備したいともしている。

両社はすでに、海外事業を積極的に展開し、古河スカイは400億円を投じてタイで2014年稼働予定の工場を建設中で、飲料用のアルミニウム缶フタ材料を生産する予定。住友軽金属工業も海外工場の立地や規模を詰めている。

両社合併の暁には、アルミニウム板の年産は100万トンを超え4割近いシェアとなるが、世界シェアは約

5%。アルコアやノベルスの200~300万トンの世界大手と比べて見劣りする。

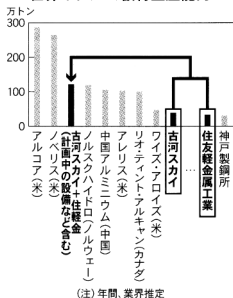
古河スカイ 2003年に古河電気工業のアルミニウム圧延部門とスカイアルミニウムが統合して設立。現在は古河電気工業の子会社で、新日本製鉄も大株主に残る。

飲料缶材などになるアルミニウム板で日本最大手。2012年3月期の連結売上高は1039億円。連結純利益は35億円。

住友軽金属工業 1959年に住友金属工業のアルミニウム圧延部門を分離して設立。アルミニウム板で国内2位だが、海外展開が競合他社に比べて出遅れているとされる。エアコン用銅管など伸銅部門も手がける。

2012年3月期の連結売上高は2589億円、連絡純利益は82億円。

世界のアルミ板材生産能力



11月29日

自動車アルミ化技術講習会開催

一般社団法人 日本アルミニウム協会

排ガス削減、エネルギー消費削減の環境保全対応のみでなく、安全性、快適性の追求からも、自動車の軽量化のニーズはますます高まっており、自動車へのアルミニウム使用量は逐年増加しつつある。

一般社団法人日本アルミニウム協会では、このような自動車へのアルミニウムの適用の最新技術を紹介し、さらにアルミニウム使用による軽量化を押し進めようと、自動車アルミ化技術講習会を開催するはこびになり、参加者の募集を開始した。

- ・主催 一般社団法人日本アルミニウム協会
自動車アルミ化委員会
- ・協賛 一般財団法人金属系材料研究開発センター
一般社団法人軽金属学会
一般社団法人軽金属製品協会
一般社団法人軽金属溶接協会
公益社団法人自動車技術会

全国軽金属商協会

一般社団法人日本アルミニウム合金協会

一般社団法人日本ダイカスト協会

一般社団法人日本マグネシウム協会

- ・日時 平成24年11月29日（木曜日）
10:00～16:50
- ・場所 きゅりあん（品川区立総合区民会館）
6F 大会議室
〒140-0011 品川区東大井5-18-1
TEL 03-5479-4100
- ・参加費 7,000円（テキスト代含む）
- ・申込先 一般社団法人日本アルミニウム協会
〒104-0061 中央区銀座4-2-15
塚本素山ビル 7F
TEL 03-3538-0221
FAX 03-3538-0233

技術講習会プログラム

- | | |
|-----------------|--|
| (1) 10:00～10:20 | ご挨拶
自動車のアルミ化動向
櫻井健夫（株式会社神戸製鋼所・自動車アルミ化委員会委員長） |
| (2) 10:20～11:10 | 特別講演
自動車のアルミ化とリサイクルの取組み
青木昇二（日産自動車株式会社） |
| (3) 11:10～12:00 | 自動車用アルミニウム材料（展伸材・板）
一谷幸司（古河スカイ株式会社） |
| (4) 12:00～12:30 | 自動車用アルミニウム材料（展伸材・押出）
佐田俊一（三菱アルミニウム株式会社） |
| (5) 13:30～14:00 | 自動車用アルミニウム材料（鋳物）
駒崎徹（リョービ株式会社） |
| (6) 14:00～14:50 | 自動車用アルミニウム材料（ダイカスト）
佐々木英人（株式会社アーレスティ） |
| (7) 15:00～15:50 | 自動車用アルミニウム材料の接合
今村美速（株式会社神戸製鋼所） |
| (8) 15:50～16:40 | 自動車用アルミニウム材料の表面処理
竹田委千央（住友軽金属工業株式会社） |
| (9) 16:40～16:50 | Q&A（全体を通して） |

1～6月アルミ総需要 7.1%増 200万トン

日本アルミニウム協会がこのほど発表した2012年上期（1月～6月）のアルミニウム総需要は、前年同期比7.1%増の2,001,547トンで、上期としては2008年の2,212,063トン以来となる200万トン台を記録したことになる。

需要を押し上げた最大の要因は、国内自動車生産が上半期に前年比53%の増加、国内販売が54%の増加と大巾な増加を記録したことによる。

これに加え、震災復興需要を含む建設関連はサッシ需要などを含め10.3%の増加。反面圧延品が主力の食品と金属製品は震災支援の緊急需要の反動で減少したものと考えられる。

下期の需要については、自動車の内外需要について強弱と見方が分かれており、国際経済の見通しの困難さと共に慎重な見方が多い。

（単位：トン、%）

	2012年1～6月		対前年同期比
	合計	構成比	
① 輸 出	110,870	5.5	101.6
② 食 料 品	218,806	10.9	95.1
③ 金属製品	228,406	11.4	92.2
④ 一般機械	53,698	2.7	82.3
⑤ 建 設	281,595	14.1	110.3
⑥ 電 力	6,670	0.3	87.0
⑦ 電気機械	64,421	3.2	87.8
⑧ 輸 送	845,490	42.2	128.0
⑨ 化 学	2,220	0.1	114.4
⑩ そ の 他	189,373	9.5	86.8
⑪ 合 計	2,001,547	100.0	107.1
⑫ 内 需	1,890,677	94.5	107.4

中国の反日デモ 日系自動車生産に暗雲

尖閣諸島領有権の問題から、9月15日以降中国全土で反日デモが多発、50以上の都市に拡大、いくつかは暴動に発展した。暴徒は日本公館へ乱入する他、日系商店への破壊、略奪、さらに日系工場へ乱入して放火するなど異常な無法事態となった。

英字紙ジャパントイムズ9月20日号の「身がまえる日系車メーカー」の一部を紹介する。

西安市の女性研究者の王さんは、通勤にトヨタ・カムリを愛用していたが、暴漢の襲撃を恐れてバス利用に切りかえた。日本の自動車メーカー各社は、昨年の津波以上のショックが襲来するのではと身がまえていると彼女は感じている。

中国乗用車協会は、尖閣諸島の問題から日系ブランド車は2005年以来的首位の座をドイツ車に譲るだろう。また日本車メーカーへの逆風は大そう深刻で、しばらく収まらないだろうと予想している。

自動車アナリストの張氏は緊張は短期的には販売を低下させるが、時間がたてば日本車に買手がもどるだろう。

中国のお客は日本車の性能の良さを理解しておりカーメーカーは製品を心配することなく、中国政治の変化に応じて経営プランを見直す必要がある、と言う。

以上の記事から、直面する困難から避けることは出来ない。日産は中国メーカーと組み500億円を投じて2010年の130万台から、2015年には230万台を目標にしている。トヨタは最低20モデルを加え、2015年までに180万台に、昨年の倍の目標を示している。このような状況での環境急変は各社にとり大問題であろう。

○

一連の中国政府の対応から昭和初年の日本の空気をを連想する。国粋主義が神がかり（狂信的）の頂点に達して、経済力も軍事力も国力は世界一と妄信して暴走する。大へん危険で滅亡へのガケッ湖。

国民の不満を、排外主義運動を利用して切り抜けようとするのは、残念ながら万国古今東西かわらない。非力なリーダーの排外思想へ、賢明な国民は絶対に乗ってはならない。

西尾 伝統の秋まつり

- ・10月21日 10時 田貫町 神明社
棒の手(愛知県無形民俗文化財)
- ・10月21日 10時 中畑町 八幡社
おまんこ祭(西尾市無形民俗文化財)
- ・10月21日 15時 室町 神明社
おひつ割り(西尾市無形民俗文化財)
- ・10月28日 14時 天竹町 天竺神社
棉祖祭(古式ゆかしい綿打儀式)
- ・10月29日 10時30分 本町 城址まつり
鉄砲隊 阿波踊 西小MB 大道芸など

10月1日～7日

全国労働衛生週間

心とからだの健康チェック
みんなで進める健康管理

社内情報

- ◎第49回アスカ・セミナーの期日が近附いて参りました。準備万端ととのえて、大勢様のご参会をお待ち申し上げます。
- ◎13日(土曜日)に併催されます懇親ゴルフ・コンペには多数のご参加のお申し込みをいただきました。大熱戦が期待されます。
- ◎10月16日、西尾ロータリー・クラブ(会長小田井博茂氏)は当社ホールで職場例会を開きます。ロータリー・メンバーの皆さんに、工場見学を通じて資源リサイクルと環境保護の理解を深めて頂きます。

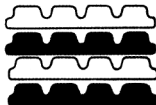
編集後記

- 中国の反日デモと暴徒の乱暴狼藉は世界中を大へん驚かせました。
- 中国への資本流入が止り、むしろ流出に流れが変化して、中国人民の働き場所が減少したらと思うと更に不安です。
- 10月1日、愛知県江南市の工場見学団を迎えます。
- さわやかな秋風が吹き、働きやすい、暮ししやすい季節を迎えました。
- 全国労働衛生週間の実りのある運動にみんなで協力しましょう。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500 代

FAX <0563> 77-0501

http://www.al-asuka.jp/